

令和元年度 第5回 自治推進委員会 会議録

開催日時	令和元年7月30日（火曜日） 午後7時00分・開会 午後9時00分・閉会
開催場所	湧別町文化センター TOM 研修室
出席委員等	委員 村田委員長、楨副委員長、横尾・北村・中原・渡邊・高野・鈴木・石田・斉藤（一）・工藤・出口各委員 オブザーバー 濱本総務課長、梅津教委社会教育課長
欠席委員等	斉藤（安）・入江・菅原委員
事務局職員	企画財政課：佐藤課長、西海谷主幹、近石主事
議題	（1）第4回 自治推進委員会の会議録について （振り返り） （2）自治基本条例に基づく各種制度について （3）次回会議日程について
会議の公開	公開
傍聴人の数	0名
提出資料	（1）第5回 自治推進委員会議案 （2）議会だより掲載記事・湧別町議会意見交換 （3）湧別町議会意見交換会開催案内 （4）新聞掲載記事
その他	

1. 開 会

佐藤課長) ただいまから、第5回目の湧別町自治推進委員会を開催致したいと存じます。条例第5条第2項の規定では委員の過半数がなければ開催できないとなっておりますが、本日の出席委員は12名であり、委員の過半数が出席しておりますので、本日の会議が成立していることをご報告させていただきます。

それでは、開会にあたりまして、村田委員長よりごあいさつを申し上げます。

2. 委員長あいさつ

村田委員長) お晩でございます。本日は第5回目ということで、これまで4回の会議が終わり、皆さんにお集まりいただきまして色々なお話をしました。1年ちょっと経ち、方向性も見えてくる部分もあろうかと思えます。これから先々中身を深めていければと思います。

本日は第5回目でテーマが決まっておりますので、それに沿って本日も概ね2時間程度ということで会議を進めさせていただきますので、よろしくお願い致します。

3. 議 題

(1) 第4回 自治推進委員会の会議録について(振り返り)

村田委員長) それでは、お手元にある資料に沿って会議を進めて参ります。

最初に、議題の(1)、第4回自治推進委員会の会議録について確認したいと思います。事務局から簡単な説明を受け、前回の会議を振り返ってみたいと思います。

では、事務局から説明をお願いします。

※事務局から会議録の内容を説明する。

村田委員長) 前回は「町民について」をテーマに町民の権利、町民と事業者のそれぞれの役割についてご意見をいただきました。

町民の役割には「知る権利」と「参加する権利」があります。それらについて皆さんが体験している部分、気になる部分があればお話しをしていただきたいと思えます。

【主な意見】

- 知る権利については、広報などで毎月の町の取り組みについての情報を得ています。
- 参加する権利があっても、自分ひとりではよっぽど興味がないと行く気にならないと思えます。ご近所だとか周り誘い合いながら、普段のコミュニ

ケーションの中で話題に出して生活すると参加しやすくなると思います。

村田委員長) 行政の取り組みを身近に感じ、興味を持ってもらうことが行政としても必要になっていくかと思います。行政も参加しやすいような体制を考えていると思うので、町民も関心をもっていたきたいと思います。

町民の役割というとな難しいと思いますが、行政と町民がお互いに尊重して連携し合うよう努めましょうということでもあります。

行政も町民のために色々な仕事をしています。町民も行政のために意見を言うことですか参加することがお互いの協働につながると思います。

次に事業所の役割として目に見えて行われていることがあれば教えていただきたいと思います。

【主な意見】

- 交通安全の取り組みや見守り活動に協力しています。

村田委員長) この辺りで前回の振り返りを終わりたいと思います。会議録の記載内容に修正はありませんか。※委員から修正なしの声あり

修正は無いようですので、この内容を以ってホームページ等で公開されますので、ご了承ください。

(2) 自治基本条例に基づく各種制度について

村田委員長) 議題の(2)、自治基本条例に基づく各種制度について協議したいと思いますが、本日は「第6章・協働、コミュニティ組織」と「第7章・議会」に関する内容になります。前回の会議では「第6章・協働、コミュニティ組織」について説明を受けましたが、時間が経っていますので、もう一度事務局から説明を受けたいと思います。

※議案に基づき、事務局から説明する。

村田委員長) ただいま、事務局から資料の説明を受けましたけれども、「協働」とは、行政、町民、議会がお互いに補完し合いながらやっていくことであり、「共同」とは似て非なるものになります。皆さんの考える「協働」について条文に触れながら意見を伺いたいと思います。

【主な意見】

- 趣味の団体もあれば自治会などの任意団体、事業所を中心とした団体など色々な形の団体がありますが、これらはある程度集約的にまとめるようなものがあるとうまく回転してくと思います。このままだと活動がどんどん

低調になってしまうので、町全体の中でうまく回転させる基軸となるハブが必要になると思います。

村田委員長) 協動に関しまして第6章の中に行政機関は町民の自主性及び自立性を損なわないように配慮するとともに必要な支援を行うものとするという文言があります。町民も参加する権利があり役割があります。お互いに良いところを補完し助け合うことが、協働の精神かと思います。

ご自分の加入しているコミュニティ組織の課題ですとか問題点がありましたらお話をいただきたいと思います。

【主な意見】

- 商工会女性部として色々な活動はしていますが、やはり若い人が少なく年齢が上がってきており活動が大変になってきています。
- 自分が関わっている組織の活動はわかっていますが、一般の人が関わらない組織は多々あると思います。PTAにしても子どもがいないと何をやっているかわからないですし、商工会にしても事業主じゃなければわかりません。それが後継者不足などの影響を受けていると思います。生徒数が減ればPTAも減るし、事業主が減れば商工会も減ります。それをそれぞれで補填しようと思うと難しいです。今はコミュニティ組織同士の繋がりが無く、それぞれの組織がバラバラに動いています。

今後人口減少により組織単独での活動が難しくなるため、新しい共助としてコミュニティ同士が連携を取る形を自治基本条例の中から提案できないでしょうか。例えばPTAに商工会が関わるとか、全く別な団体が関わられるような体制を行政が作れないかなと思います。

村田委員長) 先日の屯田七夕まつりは湧別高校とのコラボで新聞にも大きく取り上げられ大変好評でした。色々な人の集まりがひとつになって新しいものを作り上げた結果だと思います。中心となった方もいますのでご意見をお願いします。

【主な意見】

- とても感動しました。生徒たちが一生懸命汗水たらして一日いっぱい走り回っている姿が嬉しくなりました。生徒から意見も聞きましたが、「町から期待され、活躍できたことが良かった。」という意見や、「いつも楽しんでいるお祭りに自分の役割があることで楽しめなかった。」という意見もありました。次年度どうなるかわかりませんが、活気もあり発展もすると思うのでどんどんコラボはやっていただきたいと思います。

- 屯田七夕まつりとのコラボは生徒からの意見でした。生徒会から町のイベントに対して何かできることはないかという意見から始まりました。町民が一番見ていてくれたのは生徒がゴミを拾ってくれており会場が本当にきれいでした。

高校生の若いパワー、熱意を大人が汲み取ってサポートすればもっとすごいものができると思います。

- これが逆の状況でこちらからお願いしていたら、この結果にはなっていないと思います。
- 若い人が活躍すれば町が元気になると思います。町ではコミュニティ・スクールもやっていますので、地域に根ざした学校と町が一緒になるような環境づくりをすることによって色々な相乗効果があると思います。湧別高校の例を含めて、これからもどんどん子どもたちが行事参加をすることで、コミュニケーション能力の向上やこれからの社会に役立つ人材育成にもつながると思いますので、そういった組織が新たな方向性を見出すことが必要だと思います。

私自身もPTAをやったのですが無駄な組織が多いです。国の条例や規約で設けなければならない組織もあるかと思いますが、果たしてそれが良いのか反省と評価をしなければならないと思いますし、情報が共有されずそこだけで留まっていることもあります。知る権利とも関わるとは思いますけども、もう少し情報発信をしなければならないと思います。広報も活字だけではなくもっと面白くしたほうが良いのではないのでしょうか。

また、若い人の組織離れも深刻で、若いうちから経験させることでまちづくりに貢献していくのかと思います。

- 湧別町農協の青年部では小学校に出向いて野菜を通じて、子どもたちと触れ合いながら良い関係づくりを行っています。
- 本日町民大学のチラシを配っていますが、これも実行委員会というコミュニティ組織が企画し運営まで自主的に行っています。

また、町民大学の参加者は高齢層が多いのが現状で、今年から協力企業団体の登録を始めました。若い人にも来ていただきたいという思いもあって企業研修の一環として企業さんにも入っていただけるよう話を進めているところです。これも協働の例として話をさせていただきました。(梅津社会教育課長)

村田委員長) ここで5分間の休憩をさせていただきたいと思います。

※休憩 午後8時から5分まで

村田委員長) コミュニティ組織にかかわる行政の役割について、行政に望むこと

を伺いたいと思います。

【主な意見】

- 行政に望むことは、私としては充分だと感じています。何かあれば話もできますし、要望も聞いてもらえており、結果に関わらず答えももらえています。
- 合併して10年となりますが、合併当初の計画では職員の数を減らしていくこととなっていますが順調に進んでいますか。
⇒ 合併当初は3人退職につき1人採用で進んできました。5年ごとに計画を見直してきて、今は仮にですが3人退職につき2人採用ということで進めており、職員数は少なくなっています。ただ、無造作に減らすのではなく、ある程度のところで計画は見直さなければなりません。全国的に同じような人口規模の町から見ても湧別町の職員数は決して多くはありません。(濱本総務課長)
- 人口減少のなかで、仕事が増えていけば人口も増えていくのかなと思います。企業が多くあるわけではないので、町職員を減らすばかりではなく、仕事を増やした方が人口も増えるのではないのでしょうか。

村田委員長) 協働・コミュニティ組織全般につきまして、条例について修正は無いと判断しますがよろしいでしょうか。

※委員からはいの声あり

「第7章・議会」について

村田委員長) 続きまして「第7章・議会」について事務局から説明を受けたいと思います。

※議案に基づき、事務局から説明する。

村田委員長) 議会の役割について意見を聞かせていただきたいと思います。

【主な意見】

- 意見交換会に参加して、普段交流の無い議員さんの考え方が聞けて参加して良かったと思います。
- 一般町民向けの意見交換会であの人数では意味があるのでしょうか。交換会で意見を聞いても参加者が少ないので聞いた意見の持って行き場が無いように感じました。
- 意見交換会という名目なのに一方的に意見を聞かれ、それに対する回答も無いので物足りない気がしました。
- テーマが決まっているのに意見を述べても返答は無いので、消化試合でや

っている感じがしました。

議員さんも立場があるので簡単なことは言えないのもわかりますが、議会の方向性くらいは話しても良いのではないのでしょうか。テーマを決めるのならそれに沿った資料を用意していただいて、こういう問題がありますと提示していただければ話せますが、漠然とテーマだけ言われても話せません。

- 敷居が高い気もします。
- 意見交換会は今のやり方だと参加者は減り、固定化してしまいます。今回のテーマである人口減少は大切な問題で、議員さんもひとりひとり立場や考え方もあるかと思いますが、意見交換会の場で意見を出さなければ成り立ちません。議員ひとりひとりの資質や考え方を変えていかなければ、コミュニティの問題など含めて変わらないと思います。町民の皆さんに意見を述べて聞いて町のためにやっていくという流れが議会の中に出来ない限り、基本条例の議会の部分は甘いと思います。

また、今の選挙方法で良いのかも考える必要があると思います。投票方法についても1人が2名から3名を投票できるようにしても面白いと思いますし、定数についてもある程度の範囲で増やして専門性を持たせることなども考えていかなければいけないと思います。

- 自治基本条例の中で年一回以上の意見交換会を設けると決まったのは選挙が終わると議員と接点が無くなってしまいうのではだめだということで、条文で謳っています。

意見交換会を開いてくれていることはすごいことですが、6回行った上で現状の問題に議員が気づいていないのだと思います。基本条例に議会のことをあまり謳っていないのは、議会が自主的にやってくれるだろうと思っていたためです。議会が議会の基本条例を作ってくれるだろうと思っていましたが、それもやろうとしていません。意見交換会で上がった意見を踏まえてアピールをしていただきたいと思います。

- 意見交換会の中で議員が予算の中身を知りませんでした。予算審議はきちんと行っているのでしょうか。
- 意見交換会になぜ30代、40代がいないのでしょうか。その世代が行くことによってまちづくりが始まると思います。
- 関心が無いのでしょうか。関心を持ってもらうためには議員が一生懸命働くことです。議員は町民から信託されているのだから色々なことに絡んで、自ら町民と接するような形をとらない限り解決はしないと思います。
- 意見交換会はもっと身近なテーマにした方が良いと思います。例えば子育て中のお母さんなどに絞ったほうが意見は出ると思います。

(3) 次回会議の日程について

村田委員長) 次回の会議ですが、予定としては10月中旬から下旬を目途に開催したいと思います。よろしいでしょうか。会議室の空き状況等と副委員長さんと相談しながら調整させていただきまして、後日決定してお知らせしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(4) その他

村田委員長) その他として皆さん所属の団体からのお知らせはありますか。

・ 中原委員より

8月3日に湧別町農協の駐車場にて創業祭がありますので、ぜひご参加ください。

・ 高野委員より

三里地区の漁協女性部で中学校に出向き食育活動の手伝いを行っています。7月にはホッケ、秋にはアキアジを使った料理講習を予定しています。

・ 鈴木委員より

8月10日に夜汽車 DE ナイト、8月17日に合併10周年記念BONBON夏祭り大会があるので、ぜひご参加ください。

・ 横尾委員

これから収穫期に入り、トラックの移動やたまねぎの葉っぱを燃やした煙で皆さんにご迷惑をおかけします。

・ 佐藤課長より

9月中旬に第3回定例町議会を開催します。

4. 閉会

村田委員長) 本日の会議はこれで閉じたいと思います。ご協力ありがとうございます。

終了：午後9時